



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社
 コード番号 3431 URL <http://www.miyaji-eng.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青田 重利

問合せ先責任者 (役職名) 企画・経理部長 (氏名) 遠藤 彰信

TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,147	30.4	1,030	30.8	1,098	29.6	711	30.9
2019年3月期第1四半期	11,617	12.2	1,488	27.8	1,560	28.3	1,029	47.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 572百万円 (47.9%) 2019年3月期第1四半期 1,098百万円 (20.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	104.50	
2019年3月期第1四半期	151.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	56,988	28,119	43.0
2019年3月期	55,631	28,070	43.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 24,482百万円 2019年3月期 24,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		60.00	60.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	24.3	1,700	15.9	1,700	19.4	1,100	19.9	161.63
通期	60,000	15.2	3,600	17.3	3,600	20.6	2,200	39.0	323.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,919,454 株	2019年3月期	6,919,454 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	113,675 株	2019年3月期	113,675 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,805,779 株	2019年3月期1Q	6,805,883 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況(連結)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国や欧州の政治動向や中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、通商問題や金融市場の動向などが懸念されるなか、輸出や生産の弱さが続いているものの、政府の各種経済対策の効果から雇用情勢や所得環境の改善が続き、設備投資は緩やかな増加傾向にあり、個人消費は持ち直し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

公共投資は底堅く推移しているものの、当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業につきましては、今年度は端境期となり発注量は減少する見込みであり、取り分け大型案件は年度後半に発注予定であることから、当第1四半期連結累計期間の総発注量は前年同期比で大幅に減少しました。

このような状況下、受注高につきましては、概ね計画通りに推移したものの、前年同期に大型工事の受注があったこともあり、139億65百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事が順調に進捗したことから、151億47百万円（同30.4%増）となりました。

損益につきましては、今年度計画値に対して堅調に推移したものの、営業利益は10億30百万円（同30.8%減）、経常利益は10億98百万円（同29.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億11百万円（同30.9%減）となり、採算性の良い工事が多く売上がった前年同期に比較すると減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（宮地エンジニアリング）

受注高につきましては、概ね計画通りに推移したものの、前年同期に大型工事の受注があったこともあり、93億43百万円（同23.3%減）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事の進捗により、92億76百万円（同22.1%増）となりました。

損益につきましては、採算性の良い工事が多く売上がった前年同期に比較すると減益となり、営業利益は9億17百万円（同22.6%減）となりました。

（エム・エムブリッジ）

受注高につきましては、概ね計画通りに推移したものの、前年同期に大型工事の受注があったこともあり、46億21百万円（同56.2%減）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事の進捗により、55億96百万円（同38.3%増）となりました。

損益につきましては、採算性の良い工事が多く売上がった前年同期に比較すると減益となり、営業利益は1億27百万円（同54.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較して13億56百万円増加し、569億88百万円となりました。主な要因は、現金預金が42億79百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が19億16百万円および流動資産のその他に含まれる未収入金が10億6百万円それぞれ減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して13億7百万円増加し、288億69百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金が15億57百万円および未成工事受入金が9億99百万円それぞれ増加し、短期借入金が11億50百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して48百万円増加し、281億19百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が3億2百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億96百万円および非支配株主持分が64百万円それぞれ減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の見通しにつきましては、各種政策の効果によって緩やかな回復が続くことが期待されるものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に一層留意が必要であり、先行き不透明感があります。

当業界におきましては、当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業につきましては、今後も一定量の新設橋梁の発注が見込まれるなか、グループが有する豊富な実績・技術力・架設力を最大限活かし、技術提案力、積算精度の更なる向上を図り、情報収集力を高め、総力を挙げて安定的な受注の確保に努め、設計・計画・製作から架設までの総合エンジニアリング力の強化と採算性の更なる向上を図ってまいります。また、高速道路や新幹線などの大規模更新・修繕工事の保全・補修事業、ハイブリッドケーソン・浮体構造物・沈埋函などの沿岸構造物事業、シールドトンネル向けの鋼製セグメント事業、有望な製品の多いFRP事業、および建築・土木関連事業などに経営資源を積極的に投入し経営基盤を強化し、併せて、i-Constructionの推進と働き方改革の推進に積極的に取り組み、生産性を向上させ、一段の飛躍を図ってまいります。

また、グループとしての経営管理体制を一層強化し、安定した黒字体質を確固たるものとするよう努め、グループの中核である宮地エンジニアリング株式会社、エム・エムブリッジ株式会社とともに更なる事業発展を図ってまいります。両社は、技術提案力の強化など受注力の向上に努め、また、経済合理性を最大限追求することを基本

に、製造部門の生産性向上・生産効率化を図り、資機材の共同購入・活用、技術の相互利用・共同開発、人材交流の推進に取り組んでおりますが、更なるシナジーの創出に努め、グループの企業価値を高めると同時に経営基盤を一層強化してまいります。

当社は、グループの事業規模拡大を睨み、2018年度から2021年度までの4年間で宮地エンジニアリング株式会社の千葉工場に総額50億円程度の設備投資を行い、製造コストの削減、生産性の向上に伴う生産能力増強により競争力の強化を図り、橋梁総合エンジニアリング企業として更に飛躍する経営体制で事業を推進してまいります。

加えて、積極的な営業活動を展開し、年度後半に向け受注の確保に努めてまいります。

なお、第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、一部工事の進捗が下期から上期に前倒しになることが予想されるため、下記のとおり、2019年5月14日公表数値を修正しております。通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日公表数値に変更ありません。

2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	29,000	1,500	1,500	1,000	146.93
今回修正予想（B）	30,000	1,700	1,700	1,100	161.63
増減額（B－A）	1,000	200	200	100	—
増減率（%）	3.4	13.3	13.3	10.0	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2019年3月期第2四半期）	24,126	2,022	2,109	1,373	201.88

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,221,427	14,500,542
受取手形・完成工事未収入金等	24,999,838	23,083,259
未成工事支出金	502,687	581,047
その他	1,981,035	961,956
流動資産合計	37,704,988	39,126,805
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,028,192	8,028,192
その他(純額)	3,496,912	3,627,064
有形固定資産合計	11,525,104	11,655,257
無形固定資産	219,162	221,722
投資その他の資産		
投資有価証券	4,937,351	4,678,894
その他	1,292,244	1,352,746
貸倒引当金	△46,890	△46,890
投資その他の資産合計	6,182,705	5,984,751
固定資産合計	17,926,973	17,861,730
資産合計	55,631,962	56,988,536
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	11,490,920	13,048,647
短期借入金	3,850,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	731,115	384,822
未成工事受入金	2,134,687	3,134,168
完成工事補償引当金	592,880	580,850
工事損失引当金	1,894,200	1,666,600
その他の引当金	602,803	286,026
その他	719,813	1,540,428
流動負債合計	22,316,420	23,641,543
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,789,708	1,789,708
引当金	157,180	116,744
退職給付に係る負債	2,915,635	2,959,015
その他	382,293	362,010
固定負債合計	5,244,817	5,227,478
負債合計	27,561,237	28,869,021

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,206	3,746,206
利益剰余金	12,992,682	13,295,510
自己株式	△230,292	△230,292
株主資本合計	19,508,596	19,811,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,535,110	1,339,035
土地再評価差額金	3,487,245	3,487,245
退職給付に係る調整累計額	△161,289	△155,090
その他の包括利益累計額合計	4,861,066	4,671,190
非支配株主持分	3,701,061	3,636,899
純資産合計	28,070,724	28,119,514
負債純資産合計	55,631,962	56,988,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
完成工事高	11,617,328	15,147,983
完成工事原価	9,379,538	13,322,697
完成工事総利益	2,237,790	1,825,285
販売費及び一般管理費	749,311	795,244
営業利益	1,488,478	1,030,040
営業外収益		
受取利息	489	488
受取配当金	56,445	58,388
スクラップ売却益	19,012	1,276
その他	10,970	18,296
営業外収益合計	86,918	78,450
営業外費用		
支払利息	5,091	5,222
前受金保証料	9,202	3,801
その他	659	634
営業外費用合計	14,953	9,658
経常利益	1,560,442	1,098,833
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,998
特別利益合計	—	1,998
特別損失		
固定資産除却損	16,497	2,481
特別損失合計	16,497	2,481
税金等調整前四半期純利益	1,543,944	1,098,350
法人税、住民税及び事業税	394,103	340,875
法人税等調整額	△20,627	△4,699
法人税等合計	373,476	336,175
四半期純利益	1,170,468	762,174
非支配株主に帰属する四半期純利益	140,688	50,999
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,029,779	711,174

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,170,468	762,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85,738	△196,075
退職給付に係る調整額	13,647	6,198
その他の包括利益合計	△72,091	△189,876
四半期包括利益	1,098,376	572,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	958,007	520,801
非支配株主に係る四半期包括利益	140,369	51,496

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	7,594,789	4,047,076	1,146	11,643,011	△25,683	11,617,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	398,952	177,972	366,905	943,830	△943,830	—
計	7,993,742	4,225,048	368,051	12,586,842	△969,514	11,617,328
セグメント利益	1,185,586	278,220	337,083	1,800,890	△312,412	1,488,478

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額△899千円、セグメント間取引消去△280,543千円及び全社費用△30,968千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	9,276,146	5,596,152	1,090	14,873,390	274,592	15,147,983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	447,289	158,894	502,495	1,108,679	△1,108,679	—
計	9,723,436	5,755,046	503,586	15,982,069	△834,086	15,147,983
セグメント利益	917,336	127,840	470,380	1,515,558	△485,517	1,030,040

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額△4,877千円、セグメント間取引消去△447,433千円及び全社費用△33,205千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況（連結）

① 生産の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	7,557,877	64.7	9,302,191	61.1	32,311,625	62.9
エム・エムブリッジ	4,146,383	35.5	5,644,452	37.1	19,135,143	37.3
その他	1,146	0.0	1,090	0.0	2,365	0.0
調整額	△25,683	△0.2	274,592	1.8	△114,381	△0.2
合計	11,679,723	100.0	15,222,326	100.0	51,334,752	100.0

② 受注の状況

(受注高)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	12,174,661	53.6	9,343,770	66.9	33,006,935	62.2
エム・エムブリッジ	10,540,812	46.4	4,621,035	33.1	20,018,760	37.8
その他	1,146	0.0	1,090	0.0	2,365	0.0
合計	22,716,619	100.0	13,965,897	100.0	53,028,060	100.0

(受注残高)

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間末 (2018年6月30日)		当第1四半期連結会計期間末 (2019年6月30日)		前連結会計年度末 (2019年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	57,454,727	61.7	53,463,473	65.4	53,395,850	64.4
エム・エムブリッジ	35,729,544	38.4	28,590,834	34.9	29,565,951	35.6
その他	—	—	—	—	—	—
調整額	△76,053	△0.1	△261,947	△0.3	12,644	0.0
合計	93,108,218	100.0	81,792,360	100.0	82,974,446	100.0

③ 販売の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	7,594,789	65.4	9,276,146	61.2	32,485,940	62.4
エム・エムブリッジ	4,047,076	34.8	5,596,152	37.0	19,688,616	37.8
その他	1,146	0.0	1,090	0.0	2,365	0.0
調整額	△25,683	△0.2	274,592	1.8	△114,381	△0.2
合計	11,617,328	100.0	15,147,983	100.0	52,062,540	100.0